平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	経済学入門 (Introduction to Economics) 【板倉クラス】			授業コード	E014952
担当教員名	板倉　理友			科目ナンバリングコード	E10103
配当学年	1	開講期	後期		
必修・選択区分	必修	単位数	2		
履修上の注意または履修条件	日頃の経済ニュースにも興味を持つようにしてください。				
受講心得	必ず教科書を予習して来てください。出席は毎回取ります。私語は慎んでください。				
教科書	地域マクロ経済の分析(現代図書)板倉理友 著				
参考文献及び指定図書	「キーワード入門経済学」河村朗・高屋定美・阿部公一 著(嵯峨野書院)				
関連科目	経済分析				

授業の目的	本講義は経済学とはいかなる学問なのかを学びます。ミクロ経済学とマクロ経済学の初歩を学ぶことによって、現代社会において観察される経済現象とその背景にある経済社会問題を知り、自分なりの経済現象に対する体系的な見方を養うことを目的とします。
授業の概要	授業では、基本的なミクロ経済学とマクロ経済の概念を学ぶとともに、大分県と宮崎県の地域マクロ経済の分析の仕方ー分析手法を学びます。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 ： 経済学とは 経済学全体を概観します。市場全体を分析するミクロ経済学、経済全体の相互関係を分析するマクロ経済学とは具体的にどういう内容かについて学びます。	配布したプリント内容(経済学の概要)及び確認テストを1時間かけて復習する。
第 2 週 ：「需要曲線と救急曲線」「地域マクロ経済と産業特性」 需要曲線と供給曲線を取り上げ、その概念等について学びます。 また、地域経済における所得水準と格差、所得の決定要因、産業構造等について学びます。	配布したプリント内容(需要・供給曲線、都道府県の所得分布)及び確認テストを1時間かけて復習する。
第 3 週 ：「経済システム」「地域マクロ経済と産業特性2」 市場経済システムと調整過程について学びます。 また、地域経済における工業、商業及びサービス業の特徴等について学びます。	配布したプリント内容(市場経済システム、宮崎県の工業、商業、サービス業)及び確認テストを1時間かけて復習する。
第 4 週 ：「効用・無差別曲線」「指数による市町村の位置づけ、圏域の設定及び核都市の選定」 効用と予算線、無差別曲線の基礎について学びます。 また、地域経済の分析において、分野別指標の選別・指数の算出、分野別指数による市町村の比較・特質等について学びます。	配布したプリント内容(効用と無差別曲線、大分県圏域の設定)及び確認テストを1時間かけて復習する。
第 5 週 ：「生産関数」「指数による市町村の位置づけ、圏域の設定及び核都市の選定2」	

生産関数、限界生産逓減の法則、等産出量曲線について学びます。 　また、地域経済において、中心性指数による都市の比較を行い、核都市の選定等について学びます。	配布したプリント内容（生産関数、等産出量曲線、核都市の選定）及び確認テストを1時間かけて復習する。
第 6 週 ：「自然独占・産業組織論」「景気動向指数による地域景気動向の把握及び問題点」 自然独占、複占と寡占、産業組織論について学びます。 　また、地域経済においては、景気動向指数の歴史、景気動向指数による景気循環の捉え方、景気動向指数の作成方法等について学びます。	配布したプリント内容（独占・複占・寡占、地域景気動向指数）及び確認テストを1時間かけて復習する。
第 7 週 ：「基数的効用・序数的効用」「景気動向指数による地域景気動向の把握及び問題点2」 　基数的効用、序数的効用、パレート最適について学びます。 　また、地域経済では、景気動向指数における国と大分県の比較、国の景気循環との比較による大分県の景気循環の特質等について学びます。	配布したプリント内容（基礎的・序数的効用、大分県の景気循環）及び確認テストを1時間かけて復習する。
第 8 週 ： これまでのまとめ 本回ではこれまでのまとめを行い、中間テストをします。	これまでの授業内容について、1時間かけて復習する。
第 9 週 ：「付加価値・三面等価の原則」「景気動向指数による地域景気動向の把握及び問題点3」 付加価値、国内総生産、国内総支出、三面等価の原則について学びます。 　また、地域経済においては、大分県の景気循環、景気動向指数の問題点等について学びます。	配布したプリント内容（付加価値、三面等価の原則、景気動向指数の問題点）及び確認テストを1時間かけて復習する。
第10週 ：　「労働市場・労働雇用量」「システム・ダイナミックスによる人口の分析」 労働市場、労働供給曲線、労働需要曲線、労働雇用量と産出量の関係について学びます。 　また、地域経済においては、人口・世帯数の推移、自然動態と社会動態、人口ピラミッド及び残存率等について学びます。	配布したプリント内容（労働市場、雇用量と賃金、宮崎県の人口の動き）及び確認テストを1時間かけて復習する。
第11週 ：「IS-LM分析」「経済予測と地域構造の把握」 　IS-LM分析の基礎概念であるIS曲線とLM曲線について学びます。 　また、地域経済においては、経済予測をする場合のモデルの作成手順、あるいは産業連関分析とは何か等について学びます。	配布したプリント内容（IS-LM分析、産業連関分析）及び確認テストを1時間かけて復習する。
第12週 ：「インフレーションと失業」「消費構造変容分析」 インフレーションの種類及び失業、有効求人倍率について学びます。 　また、地域経済においては、大分県経済の消費構造に焦点を当て、消費の特徴等について学びます。	配布したプリント内容（インフレーションの種類、大分県の消費構造）及び確認テストを1時間かけて復習する。
第13週 ：「財政・金融政策」「市町村分析－姫島村」 財政政策や金融政策の基礎について学びます。 　また、地域経済においては、姫島村を取り上げ、その概要、人口の推移等について学びます。	配布したプリント内容（財政政策、金融政策、姫島村の概要）及び確認テストを1時間かけて復習する。
第14週 ：「経済成長」「市町村分析－姫島村 2」 経済成長の基礎概念である実質経済成長率やカルドアの定型化された事実について学びます。 　また、地域経済においては、姫島村の主な産業の現況、生活面における現況等について学びます。	配布したプリント内容（経済成長理論、姫島村の産業の現況）及び確認テストを1時間かけて復習する。
第15週 ：「市町村分析－姫島村 3」及びまとめ	

姫島村における車エビの養殖への取り組み及び今後の課題について学びます。 　また、これまでのまとめを行います。経済を考え分析する具体的な方法はいろいろあるものです。この授業で取り上げたのはほんの一旦でしかありませんが、これからの卒業論文作成の上でもぜひ生かしてほしいものです。	配布したプリント内容（姫島村の車エビの今後の課題）及び確認テストを1時間かけて復習する。
第16週： 期末試験 試験時間は60分で、計算問題を必ず1つは出題します。また、試験問題には記述式問題が含まれるので、学生は文章を正確に書くことを要求されます。	

授業の運営方法	(1)授業の形式	「講義形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ:地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	①経済学の基本的な概念を説明できる。
【知識・理解】	②地域経済として宮崎県の産業特性を説明できる。
【技能・表現・コミュニケーション】	③大分県の景気動向を説明できる。
【思考・判断・創造】	④様々な分析手法について概要を理解できる。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	
【関心・意欲・態度】※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		10点		
【知識・理解】※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。	40点			
【技能・表現・コミュニケーション】※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。			10点	
【思考・判断・創造】※「考え抜く力」を含む。	40点			

(「人間力」について)

※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等(提出物)	レポートを課しますので、期日までに提出をしてください。
発表・その他(無形成果)	学習に真面目に取り組んでいるかどうかで評価します。